NO. 2011. 15 号
発行日：2011 年 12 月 22 日

検査のパレット

今回は、胸部誘導の電極取り付けポイントについてお話します。

1）四肢誘導の場合と同様に、皮膚に汗や汚れがある場合は、アルコール綿又はそれに類する物で拭いてください。

2）まず、第４肋間を捜す方法です。胸骨を鎖骨側から心窩部のほうへ指の腹で触りながら、移動させます。他と比べるとやや隆起しているところがないでしょうか？　ルイ(Louis)角といい、ここに左右から第２肋骨が結合しています。第２肋骨の下が第２肋間、以下第３、第第４肋間となります。

3）吸着電極を取り付ける位置にケラチンクリームでマーキングします。ケラチンクリームは、直径２cm くらい（吸着電極の直径が２cm なので）に、しかし、隣同士のケラチンクリームはくっつかないようにして下さい。(クリームがくっつくと同電位となり、同じような電圧の波形となります)

V1：赤色　第４肋間胸骨右縁
V2：黄色　第４肋間胸骨左縁
V3：緑色　V2 と V4 の中間点
V4：茶色　第 5 肋間と左鎖骨中線の交点（真上から見て鎖骨の中央を確認します）
V5：黒色　V4 と同じ高さで左前腋窩線上（左真横から見て腋窩の前を確認します）
V6：紫色　V4 と同じ高さで左中腋窩線上（左真横から見て腋窩の中央を確認します）

4）吸着電極が取り付け難い患者様の対処法についてお話します。

＊　体毛の多い場合、体毛が立ち上がれない位、**厚く**、ケラチンクリームを塗ってみてください。体毛に負けないで、電極がくっつきます。

＊　皮下脂肪の少ない皮膚の場合、吸着電極の上から粘着テープ（心電計の手前のかごの中の袋にあります）を貼りつけ、固定してみてください。

＊　電極を取り付ける位置にドレーン等がある場合、胸部誘導全部を一肋間または二肋間上下させて検査をして下さい。

5）呼吸により胸部誘導の基線が揺れる場合は、息止め(5 秒くらい)をしてもらうと、比較的安定した心電図波形が記録できます。

6）心電計のｽﾀｰﾄｽｲｯﾁは、波形が画面上現れ安定するまで待ってください。

7）時々、電極を取り付けている間に、手や誘導コードが心電計のスイッチ類に接触し、初期検査設定とは異なる状態になる事があります。記録できない場合は、一度心電計の電源を切り、再立ち上げして下さい。

以上、心電図の電極取り付け方法等についてお話しました。

今後とも検査室をよろしくお願いします。

文責：藤谷　恵子　　監修：石竹　久仁